



介護予防推進キャンペーン 2015

代表理事コラム

2 「超高齢化社会を迎えて」

3 公益社団法人 愛知県理学療法士会
部局だより

7 愛知県理学療法士会・愛知県理学療法学会主催
の研修会・その他の研修会

代表理事コラム

「超高齢化社会を迎えて」

公益社団法人 愛知県理学療法士会 代表理事 鳥山 喜之

ケニアで見つかった170万年前の古人類ホモ・エレクトスの骨は、病気で歩けなくなってから数カ月は生きていたことがうかがえた。肉食獣のいるサバンナでだ。仲間が守って介護していたとしか考えられない2万何千年か前まで生存したネアンデルタール人では右腕と左目が生まれつき不自由で40歳くらいまで生きた個体の骨が見ついている。ネアンデルタール人には体の不自由な仲間をいたわり、世話をするのが普通だったらしい(河合信和著「人類進化99の謎」文春新書) われら現生人類以外の古人類も病人や老人をいたわり、世話をした証拠がいくつか見ついている。

さて、わが国は少子高齢化という深刻な問題で、総人口が減少する中で高齢者が増加することにより高齢化率は上昇を続け、47(2035)年に33.4%で3人に1人となる。54(2042)年以降は高齢者人口が減少に転じても高齢化率は上昇を続け、72(2060)年には39.9%に達して、国民の約2.5人に1人が65歳以上の高齢者となる社会が到来するといわれ、また、総人口に占める75歳以上人口の割合も上昇を続け、いわゆる「団塊ジュニア」(昭和46(1971)～49(1974)年に生まれた人)が75歳以上となった後に、平成72(2060)年には26.9%となり、4人に1人が75歳以上の高齢者

と超高齢化社会を迎えようとしている。また、「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」によると、「介護や福祉サービス」と「高齢者向けの住宅」を重視する人が増加。身体機能が低下して介助が必要となった場合でも、自宅に留まりたい人が7割弱もいる。その一方、大都市部での独居老人が増加、孤独死などの社会問題なども発生している。要介護認定率も80歳以上になると急上昇し、介護サービスが必要となってくる。

地域包括ケアシステムの構築の中、リハビリテーション専門職として、地域リハビリテーションの推進、地域医療・介護の連携ならびに介護予防における理学療法士の役割は重要であり、地域包括ケアシステムが機能するためには、①医療との連携強化、②介護サービスの充実強化、③予防の推進、④多様な生活支援サービスの確保、権利擁護、⑤高齢者住まいの整備に対する取り組みが重要である。そのためには、多くの士会員の皆さんには、地域包括ケア推進リーダーや介護予防推進リーダーの取得をぜひお願いしたい。

最後に、理学療法の専門職としての知識・技術の向上だけでなく、社会人として「人間の生き方や社会に深く関わる仕事」をしている者としてのマインドを持ち続けて頂きたい。

代表理事会務報告(平成27年7月12日～9月25日)

7月12日(日)	介護予防キャンペーン(アピタ長久手)
7月13日(月)	第4回地域医療再生に関する多職種連携協議会
7月18日(土)	愛知県理学療法士会理事会
8月1日(土)	第38回総合リハビリテーション研究大会 プレ研究会
8月17日(月)	第4回地域医療再生に関する多職種連携協議会
8月31日(月)	日本理学療法士協会人材育成対策会議
9月5日(土)	多職種連携の理解を図るための模擬事例検討
9月11日(金)	名古屋市在宅医療・介護連携推進会議
9月11日(金)	名古屋市医師会在宅医療・介護連携支援施設インター開所式典
9月18日(金)	第38回総合リハビリテーション研究大会
9月19日(土)	愛知県理学療法士会理事会
9月25日(金)	愛知県看護協会 脳卒中リハ看護認定看護師教育課程修了式



職能局

業務推進部

部長 石田 悦二

<報告>

今年度も地域包括ケア推進委員会の協力のもと、地域包括ケアシステムに関する推進リーダー導入研修事業として、9月6日(日)介護予防推進リーダー導入研修、13(日)地域包括ケア推進リーダー導入研修を、あいち福祉医療専門学校にて開催いたしました。

介護予防推進リーダー導入研修には43名、地域包括ケア推進リーダー導入研修には58名と多くの皆様に登録・参加いただきました。

講師は地域包括ケア推進委員の先生方が担当し、介護予防では池野倫弘先生・小幡匡史先生、地域包括ケアでは星野茂先生・張本浩平先生が、ご講義くださいました。

両日とも長時間の研修でしたが、参加者の皆様は推進リーダーの取得に向けて時間の経過も忘れてしまうほど熱心に聴講されていました。

『介護予防推進リーダー導入研修』では、午前の講義に続いて午後からは介護予防教室の企画会議のグループワークを行いました。

小幡匡史先生による事前の講義とアドバイスを参考に、グループ内では一人ひとりがアイデアを出し合い、活発な意見交換をまとめてグループ毎に発表されていました。グループそれぞれの斬新な企画に参加者の皆様も感心し、和やかな雰囲気の中研修を終えることができました。

両日とも講義・グループワークを通して“介護予防教室の具体的な進め方が分かった”、“地域包括ケアについての理解が深まった”など多くの感想をいただきました。

この研修で介護予防および地域包括ケア推進リーダーを取得された皆様には、今後それぞれの地域でご活躍されるのを祈念いたしております。

さて、業務推進部では来年度も引き続き、地域包括ケアシステムに関する推進リーダー導入研修事業『介護予防推進リーダーおよび地域包括ケア推進リーダー導入研修』を開催する予定です。案内告知は来年夏頃を予定し

ています。

※事前に日本理学療法士協会マイページ『地域包括ケア推進リーダー制度』をご確認ください。

<ご案内>

年明けの平成28年1月および2月、介護予防・地域包括ケア推進リーダーのアドバンス研修的な意味合いとして『地域リハビリテーション専門職介護予防指導者育成事業』を、全体研修会を1回、その後県内地域ごとに4会場で開催いたします。

案内等の詳細は、後日各施設に郵送させていただくとともに、土会ホームページでお知らせいたします。医療・介護・その他の分野など職域にかかわらず多職種の方々もお誘い合わせのうえ奮ってご参加くださいますようよろしくお願いいたします。



職能局 保険部部長
部長 岡 季子

いつも保険部活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。今年度も介護保険改正後の影響調査アンケートの他、平成28年3月13日(日)の愛知県理学療法学会大会において、医療保険・介護保険Q&A(相談会)を開催致します。診療および介護報酬情報や日

頃の業務に関わる疑問などがございましたら、お気軽にブースにお立ち寄りください。また平成28年度の診療報酬改定に向けて、改定情報に関する研修会を平成28年3月頃に開催する予定です。詳細日時については後日HP等でご連絡させていただきますので宜しくお願い致します。



社会局 健康福祉部
部長 荒谷 幸次

各事業の今後の予定をお知らせします。

❖**スポーツ傷害予防事業**

一般の選手、指導者の方々を対象にスポーツ傷害予防教室を行います。

日程が決定している事業をお知らせ致します。ご興味ある方はご参加下さい。

詳細は県土会HPをご覧ください。

<東三河ブロック>

日時:平成27年12月13日(日)
13:00~16:00(受付12:30~)

場所:豊橋創造大学

定員:60名

内容:スポーツ傷害予防教室『体幹を極める』

第1部 「スポーツと体幹」~腰部を中心に~

講師:医療法人整友会 豊橋整形外科
鷹丘クリニック 院長 中神和賀雄

第2部 「体幹しよう!ケガ予防とスキルアップ」

講師:医療法人整友会 スポーツ班 理学療法士

参加費:無料

申し込み・問い合わせ先:

健康福祉部 川口聖史

(豊橋整形外科 鷹丘クリニック)

E-mail: reha-takaoka@seiyukai.or.jp

<名古屋東ブロック>

日時:平成27年12月12日(土)
14:30~17:00(受付14:00~)

場所:トライデントスポーツ医療看護専門学校
E73教室

内容:①スポーツ整形外科医の立場から見た足関節捻挫の病態と診断(医療現場からの警鐘)

②足関節捻挫の予防とリハビリテーション(適切なrice処置、テーピング、足関節捻挫に対する治療の最新知見、コアトレーニングや指導方法など)

③理学療法士から見た足関節捻挫に対するコンディショニング実技(適切なストレッチング方法とコンディショニング)

講師:①名古屋第二赤十字病院整形外科
医師 深谷 泰士

②トライデントスポーツ医療看護専門学校
理学療法学科 銭田 良博

③大久保病院明石スポーツ整形・関節
外科センター 山本 昌樹

参加費:無料

申し込み・問い合わせ先:健康福祉部 木村康人
(虹ヶ丘介護老人保健施設)

E-mail: ne_kenko_apta@yahoo.co.jp

❖**健康増進事業**

セカンドライフフェタ&あいちさんフェスタ in 半田
運営スタッフ募集!

詳細はHPをご覧ください。

日時:平成27年11月21日(土)
午前9時から午後4時くらい

場所:雁宿ホール(昨年までと開催場所が変更になり

ます!)

内 容：参加者の体力チェック

(バランス能力・柔軟性・脚力のチェック)

(体力チェックの記録を元に指導・助言を行います。)

申し込みメ切：11月6日(下記宛までご連絡ください)

その他：①交通費・昼食は支給します。

②希望者は、新人教育プログラム「C-7士会活動」、地域包括推進リーダー「士会指定事業参加」に認定します。

③当日は公共交通機関でお越しください。

(近隣に有料パーキングがありますが実費負

担となります。予めご了承ください。)

④県士会Tシャツ(白地に赤色袖)での参加をお願いします。

(お持ちでない方は支給しますので申し込み時にサイズをお知らせ下さい。)

⑤参加される方は、氏名(ふりがな)・勤務先(自宅会員の方は自宅)・連絡先(E-mail)最寄り駅・自宅住所と郵便番号を明記して下記宛まで申し込みください。

申し込み・問い合わせ先：健康福祉部 安井義雄

(竹内整形外科・内科クリニック)

E-mail：ch_kenko_apt@yahoo.co.jp

社 会 局 ニュース編集部
部長 後藤 亮吉

今号のニュースが今年度3回のニュースになります。ニュースは引き続き4回(5月、8月、11月、2月)発

行いたしますので、各部局・委員会の活動報告、研修会案内、求人情報等の掲載に是非ご利用ください。

常設委員会 白書委員会
委員長 西山 知佐

白書委員会 調査協力御礼

先日はお忙しい中、医療・介護施設アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。9月末日時点で約480施設の方々にご協力をいただきました。この場

を借りまして厚く御礼申し上げます。

アンケート結果につきましては、先に実施しました会員個人調査の結果や各部局の事業報告と共に纏め、来年度上半期に公開の予定です。

特設委員会 災害対策委員会
委員長 西山 知佐

10月の研修会は少人数ではありましたが、無事終了できました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今後は研修会の開催のみならず、被災時の対応や本会の体制づくりなども進めていく予定です。当委員会や他の役員も努力しますが、会員の皆さまにもご理解・ご協力いただく必要があります。「協力」というと、被災地・被災者への支援活動のイメージがあるかもしれませ

んが、それだけではなく様々な形があります。必要に応じて、皆さまにご協力をお願いすることもあるかと思いますが、その際はよろしくお願いたします。

その延長上で、県との協力体制も築いていきたいと考えています。7月の研修会での辻田さまのお話にもありましたように、県も亜急性期～慢性期への対策を検討しています。その中へ本会も参加を目指していきます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

特設委員会

地域包括ケア推進委員会

委員長 都築 晃

皆さんこんにちは、地域包括ケア推進委員長の都築晃です。当特設委員会は、県内作業療法士会・言語聴覚士会の地域包括ケア担当者と毎月会議を重ねており、行政や医師会などから療法士三団体としてのまとまりとその取組みが大変評価されております。

取組みの中心である愛知県に提案中の基金事業に関しては、申請結果発表の後、県と事業契約後に、皆様に事業全体の詳細と日時をご報告できます。今しばらくお待ちください。

概要は、研修事業として他県・県内の先進事例紹介、地域包括ケアを急性～生活期別の視点と取組み、多職種連携、介護職員等人材育成、市区町村での地域リハ

ビリテーション総合支援事業への支援など様々です。退院前ADL評価、地域連携、求められる実技研修、地域のアンケート、情報収集と発信網や組織づくり、小規模職場や休暇復帰後の業務相談体制も同時に進めて参ります。

県内住民の皆様や他職業団体へ、我々の職域職能を広く理解して頂き更なる理学療法士の発展につなげるために、我々の熱意と本気を伝える必要があります。多くの会員諸氏には、職場の他職種をお誘い頂き当県士会の様々な部局にて開催される地域包括ケア等に関わる研修会へご参加頂きますよう、心よりお願い申し上げます。

会員各位

地域包括ケア推進委員長の都築晃です。

介護予防及び地域包括ケア推進リーダー（取得見込者含む）を対象に、地域包括ケア参画に関するさまざまな能力を自己にて確認する「自己能力レベル確認シート」を10月より導入することとなりました。詳細は、協会から、マイページおよびホームページ、メール登録者に対するメール配信、加えて10月中旬配信のFAX通信にて行う予定です。ぜひご活用いただきますよう、よろしくお願いいたします。



愛知県士会・愛知県学会・協会主催の学会・研修会

第25回 特定非営利活動法人 愛知県理学療法学会 

THE AICHI SOCIETY FOR PHYSICAL THERAPY

愛知県理学療法学会 学術大会

会期 2016年3月13日(日)

会場 刈谷市総合文化センター
〒448-0858 愛知県刈谷市若松町2-104

大会長 酒井 元生 〔医療法人豊田会
刈谷豊田総合病院〕

理学療法
これからの10年

演題募集のご案内

演題募集 2015年 10月20日(火) 14:00~
期間 2015年 11月5日(木) 14:00まで

<http://www.cs-oto.com/apta25/>

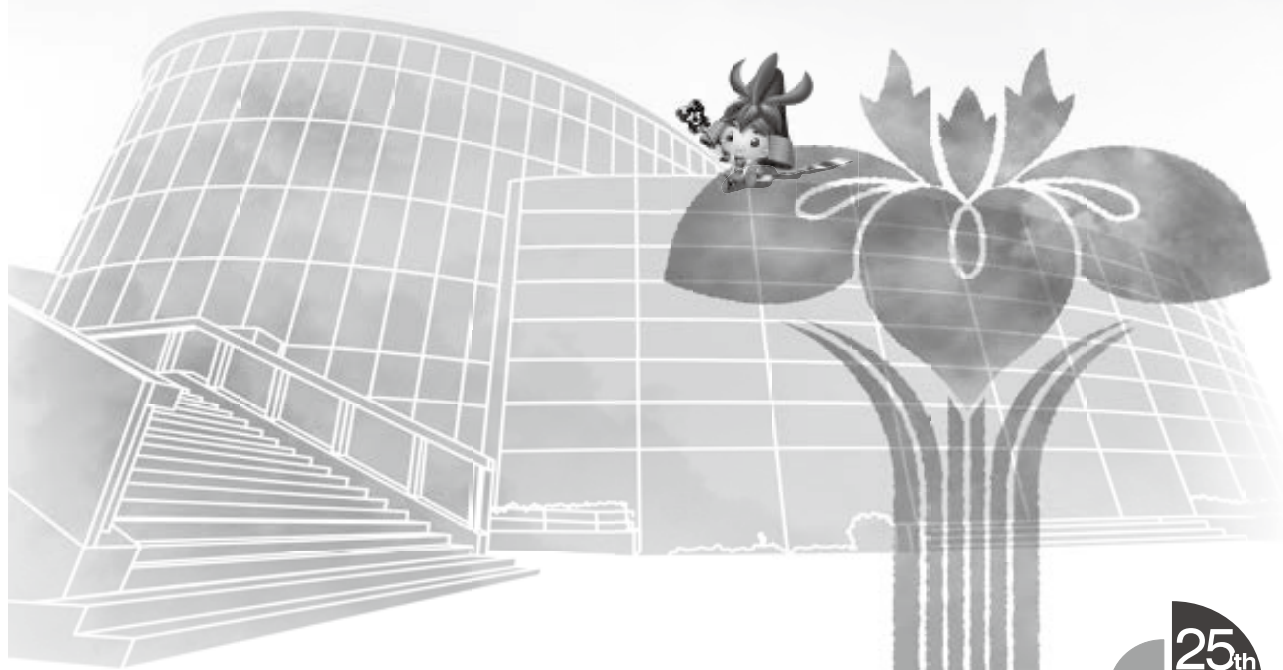
PROGRAM

特別講演

- 情動と潜在認知を考慮した治療的運動学習
富田 昌夫 (藤田保健衛生大学 医療科学部 客員教授)
- 理学療法の進歩は、周囲の進歩に依存する
浅野 昭裕 (碧南市民病院 リハビリテーション室 技師長)

市民公開講座

ストーリー・ケアの勧め
～初期認知症高齢者から自発性を引き出すケア方法～
渡辺 哲雄 (日本福祉大学中央福祉専門学校 専任教員 / NPO東濃成年後見センター 理事長)



25th

大会事務局: 医療法人豊田会 刈谷豊田総合病院 リハビリテーション科
〒448-8505 愛知県刈谷市住吉町5-15 TEL: 0566-25-8025

主催団体事務局: 特定非営利活動法人
愛知県理学療法学会

運営事務局: 株式会社 オフィス・テイクワン
〒451-0075 名古屋市西区康生道2-26 TEL: 052-508-8510 / FAX: 052-508-8540

E-mail: apta25@cs-oto.com URL: <http://www.cs-oto.com/apta25/>

◎平成27年度 NPO 法人愛知県理学療法学会
brush up セミナーのご案内

拝啓

時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

研修部では、下記の通り brush up セミナーを企画しております。万障繰り合わせのうえ多くの会員の皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成27年11月23日（月・祝）

9：30～16：50（受付開始8：45）

会 場：名古屋市立大学病院

中央診療棟3階 大ホール

テーマ：「脳卒中のリハビリテーション」

プログラム：

9：30～10：30

大喜多賢治

（名古屋市立大学病院神経内科 医師）

「神経所見の診かた」

10：40～11：40

豊田剛成（同 医師）

「脳画像所見の診かた」

11：50～12：50

大村眞弘（同 医師）

「脳梗塞治療 up to date」

13：40～15：10

大塚圭（藤田保健衛生大学医療科学部 PT）

「脳卒中片麻痺の歩行再建

課題指向的歩行トレーニングの考え方」

15：20～16：50

石井文康（日本福祉大学健康科学部 OT）

「高次脳機能障害の診かた」

申 込：不要（直接会場へお越しください）

参加費：無料

◎平成27年度 NPO 法人愛知県理学療法学会
チーム医療推進事業に関する研修会のご案内

拝啓

時下ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

研修部では、下記の通りチーム医療推進事業に関する研修会を企画しております。万障繰り合わせのうえ多くの会員の皆様のご参加をよろしくお願い申し上げます。

敬具

記

日 時：平成27年12月5日（土）

13：30～16：30（受付開始13：00）

会 場：蒲郡市民会館中ホール

テーマ：「ADL 評価・転倒転落予防およびリハビリテーションを取り入れた退院支援等」

プログラム：

1. 基調講演：地域包括ケアシステムで求められるリハ専門職の役割～病院から在宅へのスムーズな連携の実現～
2. 実践シンポジウム
 - 1) 急性期病院でのリハ専門職の役割
 - 2) 地域包括ケア病棟でのリハ専門職の役割
 - 3) 回復期病棟でのリハ専門職の役割
 - 4) 生活期でのリハ専門職の役割

申 込：不要（直接会場へお越しください）

参加費：無料

※ 今後の予定 ※

平成28年2月7日（日）

第2回研修会

「高齢者のフレイル・サルコペニアと理学療法」

於：名古屋国際会議場 10：30～16：10

◎平成27年度名古屋ブロック研修会 (名古屋西・北ブロック主催)

日 程：平成28年1月17日(日)
9:30～16:30(受付9:10～)

会 場：ウインクあいち
名古屋市市中村区名駅4-4-38

参加費：無料

テーマ：

特別講演1

「整形外科クリニックにおける臨床のポイント」

可知整形外科 リハビリテーション部

田村 将良 先生

特別講演2

「脳卒中後の肩痛へのADL上での対応」

愛知医科大学病院 リハビリテーション科

林 泰堂 先生

スケジュール：

①特別講演1 9:30～11:00、

症例検討会1 11:00～12:30

②特別講演2 13:30～15:00、

症例検討会2 15:00～16:30

対 象：愛知県理学療法士会会員または医療、介護に
従事する方

申し込み方法：下記の宛先にメールにて

①所属 ②会員番号 ③氏名 ④氏名のフリガナ

⑤西暦表示の生年月日(例：20141208)

⑥メールアドレス ⑦新人教育プログラム終了の有無を明記してご応募下さい。

※**応募多数の場合はこちらからご連絡させていただきますが、原則として参加登録確認の返信は控えさせていただきます。悪しからずご容赦ください。**

応募期間：平成27年11月9日(月)～

12月26日(土)まで

応募先：上飯田リハビリテーション病院 川瀬修平宛

E-mail：pt_nagoyakita@yahoo.co.jp

※症例検討会の演題応募につきましては名古屋
ブロック会員を対象に郵送にて案内を送付い

たします。

認定単位・ポイントについて ※申請中

・症例検討会発表者：

新人教育プログラム「C-6 症例発表」

・特別講演1参加：新人教育プログラム

「C-2 運動器疾患の理学療法」

・特別講演2参加：新人教育プログラム

「C-1 神経系疾患の理学療法」

・新プロ修了者：特別講演と症例検討参加で履修ポイント「10ポイント」

神経理学療法：a認定(脳卒中)、e専門、運動器理

学療法：a認定(運動器)、e専門

※履修は1日1テーマとなり特別講演1.2は重複し
受講しても10ポイントです。

→申請時にどちらかを選択して下さい。

◎専門領域研究部 第2回研修会のお知らせ

日 時：平成27年12月6日(日)

10:00～15:45(受付開始9:30)

会 場：あいち福祉医療専門学校2号館2階講堂

(名古屋市熱田区金山町1-7-13)

テーマ：「高次脳機能障害のリハビリテーション」

講 師：森田秋子先生

(鶉飼リハビリテーション病院 言語聴覚士)

内 容：

10:00～11:30 講義(90分)

高次脳機能障害の評価(認知関連行動アセスメント)

12:30～14:00 講義(90分)

高次脳機能障害に対するアプローチ

14:15～15:45 演習(90分)

事例検討(グループ学習)

参加費：1,000円(愛知県理学療法士会

非会員または休会者の場合5,000円)

定員数：30名(先着順)

対象者：愛知県理学療法士会 会員・新人教育プログ

ラム修了者向け（新人教育プログラム未修了者も受講可能です。）

申し込み方法：メールにて申し込み

【締切日時 11月30日（月）12：00】

メールに下記の(1)～(9)を記載して下さい。
必ず件名は、「第2回研修会受講希望」として下さい。

- (1) 氏名・フリガナ
- (2) 所属施設
- (3) 所属施設の住所・郵便番号
- (4) 所属施設の電話番号
- (5) 経験年数
- (6) 愛知県理学療法士会 会員・非会員の別
(非会員の場合は所属士会名または職種を記載)
- (7) 新人教育プログラムの修了・未修了
- (8) 会員番号（8ケタ）
- (9) メールアドレス

申し込み先：

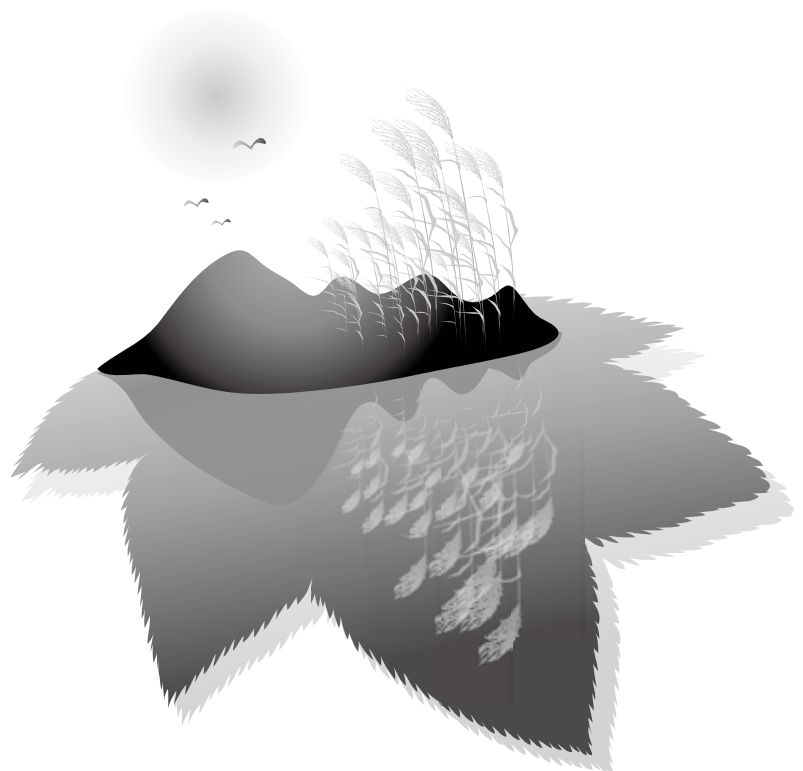
メールアドレス murase@my.email.ne.jp
(相生山病院・村瀬政信)

*携帯電話アドレスの方は、
murase@my.email.ne.jp を指定受信に設定して下さい。

*申し込み後1週間経っても返信がない場合は、
お問い合わせ先にご連絡下さい。

問い合わせ先：TEL 052-878-3711

相生山病院リハビリテーション科 村瀬政信
新人教育プログラム単位・履修ポイント：未定（決定次第、ホームページ・<http://www.aichi-npopt.jp>にてお知らせします。）



その他の研修会

◎第56回 愛知県糖尿病療養指導研究会 学術講演会

日 時：平成27年11月29日（日）
13：00～16：20（開場12：30）

内 容：
テーマ「高齢者を理解しよう！糖尿病と認知症」
一般講演1「高齢糖尿病患者を支える療養支援」
一般講演2「認知症のある糖尿病患者へのインスリン自己注射指導」
一般講演3「やってみよう！認知症予防のための運動療法」
教育講演「糖尿病と認知症」

講 師：
一般講演1 岡崎市民病院
糖尿病看護認定看護師 吉田照美
一般講演2 安城更生病院
糖尿病看護認定看護師 石川香織
一般講演3 碧南市民病院
糖尿病看護認定看護師 岡田照代
教育講演 中部ろうさい病院
副院長 河村孝彦

会 場：名古屋大学医学部附属病院
中央診療棟3階講堂
（名古屋市昭和区鶴舞65：JR中央線「鶴舞」
駅を下車し、名大病院口改札を出て徒歩約5分）

受講費：愛知県糖尿病療養指導研究会会員 無料
その他参加者 1,000円

定 員：200名

申込先：事前に申し込みの必要はありませんので、参加ご希望の方は当日会場まで直接お越し下さい

締 切：特にありません

主 催：愛知県糖尿病療養指導研究会

共 催：公益社団法人 愛知県臨床衛生検査技師会

後 援：公益社団法人 愛知県理学療法士会

その他：○糖尿病療養指導士の方に対しては、認定更新のための研修会として2群1単位が認定

される予定です。

○本研修会は、参加により（公社）日本理学療法士協会専門理学療法士ならびに認定理学療法士（代謝）資格取得および更新に関わる履修ポイントとして、5ポイント（大項目2-6）が取得できる予定です（現在申請中）。参加時にPT協会会員番号が必要ですのでご準備ください。

問合せ先：

愛知県糖尿病療養指導研究会事務局 医療法人社団喜峰会東海記念病院 藍川智津（mail：aichicde2003@yahoo.co.jp）、または医療法人三仁会あさひ病院リハビリテーション科 横地正裕（TEL：0568-85-0077）

◎AKA-博田法 第22回 紹介コース

日 時：平成27年11月29日（日）
9：30～13：00（受付9：00～）

内 容：AKAを知って頂く機会として設けております。主にAKA未経験の方・初心者の方・これから始めようとお考えの方の受講を中心とし、基本的なAKAの知識・技術の紹介を行います。

講 師：日本AKA医学会理学・作業療法士会認定指導者1名・他指導スタッフ 数名

会 場：東海医療科学専門学校
名古屋市中村区名駅南2-7-2
（名古屋駅から徒歩13分）

受講費：4000円

定 員：27名

申込先：E-mail aka_aichi@yahoo.co.jp
（赤羽が対応。問い合わせはE-mailでお願い致します）

事務局：〒467-8622
名古屋市瑞穂区弥富町蜜柑山1-2
名古屋市総合リハビリテーションセンター 萩原康仁宛

申込方法：必要事項を明記してPCメールまたは葉書
でお申し込み下さい。

件名：AKA紹介コース申し込み

記入事項：①氏名 ②勤務先 ③連絡先 PCメール
アドレスまたは（住所） ④職種

締切：平成27年11月20日（定員に達し次第、締
め切らせていただきます）

主催：日本AKA医学会理学・作業療法士会

◎第8回日本運動器疼痛学会

日時：2015年12月12日（土）～13日（日）

テーマ：運動器疼痛に対する集学的医療の確立に向け
て

大会長：松原貴子（日本福祉大学健康科学部）

会場：名古屋国際会議場

参加費：事前一般8,000円、学生2,000円
当日一般10,000円、学生3,000円

申込先：第8回大会ホームページよりWeb申込みま
たは、当日会場にて申込み

その他：第8回大会ホームページ <http://jamp8.umin.jp/>

◎認知症予防の理論と実際

日時：2015年12月12日（土）

10：00～16：00

内容：最近話題のコグニサイズ。皆さんは、なぜ、それが認知症予防につながるかご存知でしょうか？また、実際の指導場面でどのように使えばいいのでしょうか？今回は、開発者である国立長寿医療研究センターの島田裕之先生にコグニサイズの開発経緯や根拠などをお話しいただき、コグニサイズを「理解」していきましょう。また、実際の現場で試行錯誤しながら取り入れておられるお二人にその実践例をお話しいたします。P-BEANSの坂元玲介先生は、認知症予防フィットネス・ジムやイオン八事店GGモールで認知症予防のための運動指導などを実践されています。また、

名古屋フィジカルフィットネスの長谷川弘道先生は、中部地域のフィットネスのパイオニア的存在であり、最近ではポールウォーキングと組み合わせた、安全性の高い、コグニサイズを実践されています。コグニサイズの理論を理解しつつ、実際の場面にあった取り入れ方について議論しませんか？

講師：島田裕之 先生（国立長寿医療研究センター）

坂元玲介 先生（合同会社P-BEANS）

長谷川弘道 先生（名古屋フィジカルフィットネスセンター）

会場：電気文化会館イベントホール

愛知県名古屋市中区栄2丁目2-5

受講費：5,000円

定員：300名

申込先：東海臨床リハビリテーション研究会メール
tourinrehaken@gmail.com

件名：12月認知症予防セミナー申込

本文：①氏名（よみがな）

②所属先

③職種（経験年数）

締切：2015年12月11日（金）

主催：東海臨床リハビリテーション研究会

◎呼吸リハビリテーション ～理論と実践～ 2016

日時：平成28年1月17日（日）10時～17時

内容：慢性閉塞性呼吸器疾患患者の増加や脳卒中患者の呼吸機能の低下等により、急性期から慢性期まで呼吸リハビリテーションの重要性が高まり、様々な場面で適応が増えています。今回の勉強会では、視診・触診・聴診・打診・呼吸介助手技の実技を中心に基本となる理論から実践まで徹底的に学べます。

*解剖学・運動学・生理学から呼吸器疾患の基本を学ぶ

*正常呼吸音と副雑音の聴き分けには？

*視診・触診・聴診・打診・呼吸介助手技

講 師：愛知医科大学病院 リハビリテーション部
理学療法士 岸川典明先生

会 場：名古屋市内（ホームページにてご確認ください）

受講費：10,000円（当日会場にて、お支払い下さい）

定 員：40名程（定員となり次第、締め切りとさせていただきます。）

申込先：当社HP（www.generous.co.jp）の申し込みフォームよりお申込下さい。

締 切：1月12日（月）

主 催：株式会社ジェネラス

担 当：研究開発部門ふんやのつかさ 梅田典宏
〒460-0012
愛知県名古屋市中区千代田2-16-28
TEL 052-238-5496
FAX 052-238-5497
HP：www.generous.co.jp
E-mail：funya@generous.co.jp

◎平成27年度日本義肢装具学会 特別研修セミナー

日 時：平成28年1月31日（日曜日）

内 容：最近・最新の大股義足膝継手

講 師：1. 陳 隆明先生
（兵庫県立リハビリテーション中央病院）

2. 樫本 修先生
（リハビリテーション支援センター所長）

3. 芥川雅也先生
（専門学校 日本聴能言語福祉学院 義肢装具学科）

4. 二宮 誠先生（株式会社 長崎かなえ）

会 場：オフィスパーク名駅プレミアホール 403ABC

受講費：日本義肢装具学会
会 員：12,000円
非 会 員：14,000円
学生会員：6,000円

定 員：100名

申込先：〒453-0023

愛知県名古屋市中村区若宮町2-14
専門学校 日本聴能言語福祉学院 義肢装具学科
平成27年度日本義肢装具学会特別研修セミナー事務局

幹 事：宮本武志 E-mail：miyamoto@kzan.jp

締 切：平成27年12月18日（金）

主催（協会または県士会の主催、共催、協賛、後援の有無も記載してください）：
一般社団法人 日本義肢装具学会

協 賛：オットーボックジャパン(株)、(株)今仙技術研究所、(株)松本義肢製作所、パシフィックサプライ(株)、ナプテスコ(株)

◎徒手療法習得塾 きど塾

日 時：平成28年2月21日（日）
10：00～16：30

内 容：腰痛への徒手療法Ⅰ（仙腸関節偏）
（ハードテクニック&ソフトテクニック＝機能解剖→触診→関節操作）

講 師：木戸健一郎（理学療法士 整体師）
他スタッフ数名

会 場：Ken-整体研究所・木戸鍼灸院
名古屋市中区富士見町13-19 八木ビル303

受講費：15,000円（弁当付き）

定 員：10名（理学療法士、作業療法士、柔整師、鍼灸師）

申込先：info@kido-medi.com
052-332-4171 木戸まで
（メールor電話にて、お名前・所持資格・所属・連絡先をお知らせください。3日以内に以降手続きの為の返信または連絡をさせていただきます *応募多数の場合、やむなくお断りをさせていただきますこととごぞいます。ご了承ください。）

締 切：1月30日（土）

◎PTラーニング

日 時：随時

内 容：PTラーニングは、理学療法士のためのWeb研修システムであり、薬剤士向けのWeb研修システム（MPラーニング、現在会員数約4500名）を基盤に構築し、講座数は理学療法関連で73講座、医学・薬学関連で48講座を用意しております。

「PTラーニング」の内容は、下記のURLの「お試しデモ」および「PTラーニング講座情報」よりご覧頂けます。

<https://www.pt-learning.com/Start.aspx>

コンテンツには、医学の基礎知識、理学療法士の実践スキル、最新理学情報、疾患・治療および薬剤の情報、組織マネジメント等も掲載されます。皆様のスキルアップツールとしてご利用頂けると幸いです。

講 師：最新のコンテンツ情報は、下記よりご覧ください。

https://www.pt-learning.com/pdf/guidance/now_lesson.pdf

受講費：1年間見放題プラン12000円/年（税別）
1ヶ月間見放題プランを3000円/月（税別）
契約期間は全てのコンテンツが閲覧可能となります。

申込先：下記の「PTラーニング」サイトの「受講申し込み」よりお申し込みをお願い致します。

<https://www.pt-learning.com/>

締 切：随時受付中

主 催：株式会社プロアシスト主催



◎合同会社gene主催セミナー①

『学習理論を基盤とした積極的上肢訓練

－課題指向型訓練とTransfer package－』

開催日：2015年12月6日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：近年、脳卒中後の上肢麻痺に対して、脳の可塑性をメカニズムとした運動機能回復を促す治療が多数発達しています。それらの効果は神経科学の観点から考察され、ニューロリハビリテーション（神経リハビリテーション）と呼ばれています。上肢に対するニューロリハビリテーションにおいて重要な因子は、機能的な訓練に完結するのではなく、治療後の生活において常時使える「手」を作り「麻痺手の行動を変容」することで、治療後の短期的な効果だけでなく、長期的な対象者の麻痺手の機能や生活を見据えた治療が本質です。この本質を達成するためには、治療コンセプトが重要となります。コンセプトとは、対象者の生活における目標を実現するための「課題指向型訓練」や訓練によって獲得した機能を日常生活に活かすための行動療法「Transfer package」があげられます。これらはニューロリハビリテーションの先駆けでもあるCI療法の治療コンセプトのひとつです。これらのコンセプトを適切に利用することで、全てのニューロリハビリテーションの基礎となる「運動学習を基盤としたきめ細かな運動療法」を体現できると考えています。本講義では、普段の臨床に活かせる学習を基盤とした治療コンセプトを学んでいただき、皆様の普段の臨床の質の向上に少しでも寄与できることを目標としています。

講 師：竹林 崇 先生（兵庫医科大学病院 リハビリテーション部 副主任技士・作業療法士）

会 場：名古屋市中小企業振興会館 4階 第7会議室

受講費：12,500円（税込）（再受講お申込の方は6,250円（税込）となります。）

定 員：70名

セミナーのお申込は合同会社 gene ホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：合同会社 gene（愛知県士会後援依頼申請中）

本講義は、下記単位認定の申請が可能な講義でございます。日本理学療法士協会 認定理学療法士及び専門理学療法士制度 神経理学療法専門分野 全領域 履修ポイント5 生活環境支援理学療法専門分野 補装具 履修ポイント5 単位申請につきましては、当日会場にてご案内いたします。

◎合同会社 gene 主催セミナー②

『摂食・嚥下リハビリテーション入門』

開催日：2015年12月20日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：嚥下障害のアプローチは、その発見から始まり、嚥下機能を詳細かつ丁寧に評価することで、病態に応じた適切な訓練を実践していくことが重要です。嚥下リハビリテーションは多職種によるチーム医療であり、全ての職種が嚥下障害の基礎的知識と対処法について、一定の水準を習得しておく必要があります。

本講演では、嚥下障害のアプローチに必要な基礎知識、明日から実践できるスクリーニングテスト、嚥下訓練の実際についてご紹介いたします。コメディカルスタッフを対象とした入門編ですが、最近の知見やエビデンスに基づく評価と訓練、一歩進んだ応用を加え、臨床で活躍する言語聴覚士にとってもブラッシュアップできる内容にしたいと考えています。

<講義内容>

1. 摂食・嚥下のしくみ
2. 摂食・嚥下障害の病態と症状
3. 明日から使えるスクリーニングテストと嚥下造影検査の見方
4. 間接訓練（嚥下筋に対する筋力トレーニングを中心に）

5. 直接訓練（経口摂食の進め方とリスク管理）

6. 摂食・嚥下リハビリテーションのトピックス

講 師：福岡 達之 先生（兵庫医科大学病院 リハビリテーション部・言語聴覚士）

会 場：名古屋市中小企業振興会館 4階 第7会議室

受講費：12,500円（税込）

（再受講お申込の方は6,250円（税込）となります）

定 員：70名

セミナーのお申込は合同会社 gene ホームページよりお願い致します。

締 切：定員になり次第締め切り

主 催：合同会社 gene（愛知県士会後援依頼申請中）

本講義は、下記単位認定の申請が可能な講義でございます。日本理学療法士協会 認定理学療法士及び専門理学療法士制度 基礎理学療法専門分野 ひと・動物 履修ポイント5 単位申請につきましては、当日会場にてご案内いたします。

◎合同会社 gene 主催セミナー③

『皮膚運動学』

開催日：2015年12月23日（水・祝）

10：00～16：00（受付9：30～）

内 容：皮膚あるいは皮下の筋膜は従来よりさまざまな治療対象として用いられていたが、皮膚の運動学や運動力学特に、関節運動に伴う皮膚の運動方向について記されたものは私が知る限り見たことがなかった。運動時に皮膚が動くことはあまりにも見慣れていて、著者にはそれ自体が何か運動と関係するなど考えることもなかった。手術後の瘢痕化が関節運動に影響することは多く経験していても、その影響の程度については不明であった。

皮膚が関節運動や動作に伴い動くのは当然としてその法則性に注目した。そしてその法則をサポートすることを考えるようになって運動療法に応用可能であることが明確になりつつある。皺へのアプローチ、骨突出部へのアプローチ、

拮抗筋のある部位へのアプローチ、皮膚緊張線へのアプローチなどにより関節運動、姿勢・動作にどのような変化が生ずるかについて述べさせて頂く。

講師：福井 勉 先生（文京学院大学 保健医療技術学部 学部長 教授・理学療法士）

会場：名古屋国際会議場 2号館2階 会議室222 + 223

受講費：12,500円（税込）

（再受講お申込の方は6,250円（税込）となります。）

定員：70名

セミナーのお申込は合同会社 gene ホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社 gene（愛知県士会後援依頼申請中）

本講義は、下記単位認定の申請が可能な講義でございます。日本理学療法士協会 認定理学療法士及び専門理学療法士制度 基礎理学療法専門分野 ひと・動物 履修ポイント5 運動器理学療法 専門分野 運動器 履修ポイント5 単位申請につきましては、当日会場にてご案内いたします。

◎合同会社 gene 主催セミナー④

『脳卒中後中等度～重度麻痺に対する課題志向型訓練
～物理・装具・ロボット・ボツリヌス療法に
おける療法士の役割と工夫～』

開催日：2015年1月10日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：2000年を境に、ニューロリハビリテーションが発達し、現在では慢性期においても脳卒中後の上肢麻痺が改善することは常識となりつつある。しかしながら、ニューロリハビリテーションの代表格である Constraint-induced movement therapy (CI療法) をはじめとしたその手法は、随意運動が十分に出現した中等度から軽度の上肢麻痺を呈した症例が適応となっている。Brain Machine/Computer

interface (BMI/BCI) など、弛緩性麻痺といったかなり重度例に対する手法も提示されているものの、高額な機器を必要とし、一般病院で重度～中等度上肢麻痺を呈した症例に対して、定常的に提供できる手法とは言えない。そういった背景の中で本講義では、比較的身近な資源（ボツクス療法、電気刺激、装具療法）を用いて、エビデンスが保たれた課題志向型訓練を、重度から中等度の痙性麻痺を呈した対象者に提供するための工夫を提示する。

本講義の目的は、それぞれの手法のコンセプトとメカニズムを丁寧に説明し、実際の臨床で活かすことができる「手がかり」を提示することで、中等度から重度の痙性麻痺を呈した対象者の麻痺手を生活において「使用できる手」となるよう援助ができることを目的としている。

《プログラム》

- ・ 概論
- ・ ボツリヌス療法における療法士の役割
- ・ 装具・ロボット
- ・ 末梢電気刺激療法の実際と療法士の役割
- ・ それらを用いた重度例への課題志向型訓練の実際

講師：竹林 崇 先生（兵庫医科大学病院 リハビリテーション部 副主任技士・作業療法士）

会場：名古屋国際会議場 2号館2階 会議室224

受講費：12,500円（税込）

定員：100名

セミナーのお申込は合同会社 gene ホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社 gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎合同会社 gene 主催セミナー⑤

『思考が変われば、行為が変わる！
脳卒中片麻痺患者の回復を目指すための“12の機能”』
開催日：2016年1月17日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：近代リハビリテーションの始まり以降、筋力増強運動やADL練習がリハビリテーションとされ、これらの繰り返しにより動きの改善を図ってきた事実がある。しかし、脳研究の進歩によりBlack Boxとされてきた脳の機能が明らかになるにつれ、ヒトは『学習』を通して動作や行為を改善・習得しているという事実を知ることになった。すなわち、脳の中の変化が運動や行為に反映されている。あなたは“ある視点”に立つセラピストである。病気や障害を持つ患者さんであれば、“回復（改善）”させる可能性がある。教育段階の子供たち（生徒や学生）であれば“発達”を促すことが可能となる。あなたや患者さんの脳は“できる”“できない”という『結果』の判断だけをしているのではない。“どのようにすれば”できるのか、あるいはできないのかという『プロセス』に大きく関わっているはずだ。

今回のセミナーでは、『学習』をさせる教育者の視点に立ってセミナーを進める。脳が行うプロセスの変化が結果としての運動（行為）の変化につながることを理解するために、脳卒中患者のリハビリテーションに大切な『12の機能』について学んでいく。

講師：池田 耕治 先生（熊本総合医療リハビリテーション学院 教育部 理学療法学科 主任講師・理学療法士）

会場：栄ガスビル 5階 ホール

受講費：12,500円（税込）

定員：100名

セミナーのお申込は合同会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎合同会社gene主催セミナー⑥

『演習で学ぶ脳卒中患者の運動学的問題とアプローチ』

開催日：2016年1月24日（日）

10：00～17：00（受付9：30～）

内容：私たちの体の構造と運動は地球との関係の中で見事なまでに発達してきました。脳卒中患者のもつさまざまな障害の理解に解剖学や運動学の知識は不可欠です。それらの理解には生理学や物理学も応用していかなければなりません。これまでの私たちの学びの基盤は医学モデルの解剖学や運動学でした。今までと違った視点からセラピストとして解剖学や運動学をとらえた時、脳卒中患者の障害がこれまでとは異なって見えてきます。しかし、座学だけでは感動は小さいかもしれません。目で見て、そして実際に体を動かしながら感じて、その意味とアプローチを考えていきます。

講師：吉尾 雅春 先生（千里リハビリテーション病院 副院長・理学療法士）

会場：IMYホール 8階会議室

受講費：12,500円（税込）

（再受講お申込の方は6,250円（税込）となります。）

定員：90名

セミナーのお申込は合同会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

※ご案内・この講義は2人もしくは3人一組となり実技を行いますので予めご了承ください。

◎合同会社gene主催セミナー⑦

『バイオメカニクスからみた運動連鎖と

その治療への適用』

開催日：2016年1月31日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：ヒトの身体運動は様々な状況で課題に対する拘束条件が付加されるため、Steindlerの定義に従って、OKCとCKCに分けることには無理がある。最近では、OKC、CKCの定義を見直すことも検討されているようであるが、運用上の

定義を論じることは学問上の関心事であり、臨床的にはさして大きな意味があるとも思えない。動作の中で全身の関節が、1つのシステムとしての振る舞いで目的動作を遂行するために協調して連動することを考え、その機構を取り出す連鎖について考えることが重要である。OKC、CKCといった区分を超えて、身体運動時の両下肢が作る連鎖から、どのような機構が取り出されるのかを考えることが、動作のメカニズムを考える上では重要な意味を持つ。動作練習において、セラピストが行う誘導は、この連鎖の構成を熟知したうえで行われるべきであり、一側の下肢に着目し、それぞれを別個に捉える動作分析の手法には、限界があることを知るべきであろう。本講習会では、運動連鎖の機械工学的な基礎知識と、その臨床応用について解説をする。

講師：石井 慎一郎 先生（神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部 リハビリテーション学科 教授・理学療法士）

会場：東建本社丸の内ビル

（東建ホール・丸の内）3階 ホール

受講費：12,500円（税込）

（再受講お申込の方は6,250円（税込）となります）

定員：180名

セミナーのお申込は合同会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎合同会社gene主催セミナー⑧

『認知症の本当の理解と地域で支えていくための取り組み』

開催日：2016年2月7日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：2014年11月、東京で開催されたG7認知症サミット後継イベントを受け、より当事者や家族の立場に立ったプランを再考し「認知症施策

推進総合戦略（新オレンジプラン）」が2015年1月に策定されています。これは認知症という入院治療が当然だというこれまでの考えを改めて、認知症だとしても住み慣れた自分の地域・空間でできるだけ生活することを支えていく仕組みづくり、そして新オレンジプランではさらに当事者の混乱から受診、実際の支援にいたる「空白の時間」を少しでも減らすためのしくみを作る、という当事者や家族の立場に立った視点を強化する施策となっています。さて、こうした国の動きに専門職はどのような役割を持つことができるでしょうか。様々な可能性はあると思いますが、やはり専門職自身が認知症の事をしっかりと理解をして、当事者の混乱にしっかりと対峙できるスキルを持ち、具体的な関わり方を「わかりやすい言葉」で説明することはとても重要な働きだと考えています。

今回、そうした意図のもと認知症の人を理解する視点の再考と社会で包摂しながら認知症の人を支えていく仕組みへの挑戦についてお話しさせていただきます。

講師：小川 敬之 先生（九州保健福祉大学 保健科学部 作業療法学科 学科長 教授・作業療法士、ケアマネジャー）

会場：栄ガスビル5階 ホール

受講費：12,500円（税込）

定員：100名

セミナーのお申込は合同会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

◎合同会社gene主催セミナー⑨

『ADLの分析とその介入方法』

～脳卒中者の入浴・更衣・排泄を中心に～

開催日：2016年2月11日（木・祝）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：麻痺していない手足を有するはずの脳卒中者で

ありながら、ADL再獲得の困難性を感じる事に良く出会います。一般的にADLは行程（やり方）を分析され、そしてその手順の失敗を修正しながら自立を目指す練習が行われています。運動は課題と環境、そして個人によって構成されますが、道具操作を観察・分析し決められた手順を繰り返し練習するという「課題」にだけ焦点をあてた練習が常識的とされています。しかしながら片麻痺者のADLにおける困難性は姿勢制御の問題と感覚・知覚障害の問題が理由となっている場合も多く、しかもその困難性の理由は様々であり、療法士には「個人を診る」高いクリニカルリーズニングの能力が問われます。

このセミナーでは主に片麻痺者のADLの困難性について、その理由をリーズニングするための知識と、症例の実例提示、そして具体的な介入方法を実演方式で提示してみたいと思います。

講師：伊藤 克浩 先生（山梨リハビリテーション病院
リハビリテーション部 副部長 日本ボバース研究会 会長・理学療法士）

会場：名古屋市中小企業振興会館 7階 メインホール
受講費：12,500円（税込）

（再受講お申込の方は6,250円（税込）となります）

定員：250名

セミナーのお申込は合同会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

※実演に関するご案内

・参加人数により「提示」のみとさせていただきます。

◎合同会社gene主催セミナー⑩

『リハスタッフのためのマネジメント入門』

～患者さん・スタッフを動かすためにできること～

開催日：2016年2月21日（日）

10：00～16：00（受付9：30～）

内容：私たちリハスタッフに決定的に欠如している視点の一つがマネジメントである。このことは、ある意味しょうがないこととも言える。なぜならば、近年の回復期リハ棟ができるまで、地方にリハスタッフが10人以上いる病院・施設はまれであり、マネジメントを必要とされる場面が少なくその分野のニーズが希薄だったこと。そして、私たちの働くフィールドは病院が主体であり、セラピスト対患者という1対1の図式のもとに運動療法などを提供してきた。しかし、現在は介護保険領域での活動が多くなり、望ましい結果をだすために対象者だけではなく、ケアスタッフ・家族などにコミットし行動を促す必要がでてきた。悩みがちな、患者さんが（ケアスタッフが・部下が）やってくれないという呪縛から我々自身を解き放つために、医療・介護に必要なマネジメントとは何かということ、結果を引き出すことについて講義とグループワークを交えながら行う。

1. マネジメントとは何か？
2. マネジメントの実際の適応と個人差
3. なぜ、リハスタッフにマネジメントの視点が必要なのか？
4. 対象者(患者さん・利用者さん・ケアスタッフ・部下・後輩)から結果を引き出すマネジメント

講師：張本 浩平（合同会社gene 代表・理学療法士）

会場：今池ガスビル 7階 B会議室

受講費：12,500円（税込）

定員：90名

セミナーのお申込は合同会社geneホームページよりお願い致します。

締切：定員になり次第締め切り

主催：合同会社gene（愛知県士会後援依頼申請中）

<会員の皆様へ事務局からのお知らせ>

① 会員情報への

メールアドレス登録のお願い

愛知県理学療法士会では、会員向け情報の提供手段としてメール通信の運用を検討しております。会員の皆様には日本理学療法士協会マイページよりメールアドレスの登録をお願いします。(職場・個人どちらでも構いませんが、緊急連絡等もありますので、個人メールアドレスの登録をお願いします。)

② 所属先登録・変更のお願い

会員動向の正確な把握、通信経費節減等のため所属施設をお持ちの会員の方は施設会員への登録をお願いします。(特に入会時・移動時に自宅会員登録を

された後の変更が少なくなっております) また、職場移動時・自宅住所等の変更・所属先変更も日本理学療法士協会マイページより変更をお願いします。

③ 会費納入手段として

楽天カード登録のお願い

会費納入をスムーズに実施するため、楽天カードを支払い手段として登録をお願いします。お手持ちの楽天カードを登録することも可能です。楽天カードをお持ちでない会員は日本理学療法士協会マイページよりお申込み・支払設定をしていただきますと支払更新手続きも自動で可能となります。

会 員 動 向		
(平成27年7月1日～平成27年8月31日)		
総会員数 5117名 (平成27年8月31日現在)		
施設会員	施設会員 4254名 (所属施設 760施設)	
自宅会員	自宅会員 863名	
新入会	73名	
県外異動	(他県→愛知県)	5名
県外異動	(愛知県→他県)	5名
休会	8名	
退会	4名	
物故会員	1名	





Memo

A large rectangular area defined by a dotted grey border, intended for writing a memo.

◀ 求人情報 ▶

リハビリネクスト

- 所在地 〒471-0064 豊田市梅坪町6-14-18
- 電話番号 0565-35-8928
- 募集人数 1名
- 希望条件 常勤1名 非常勤1名
- 担当者 八木真次郎
- ホームページ <http://www.rehanext.net/>

医療法人 大仁会 介護老人保健施設 アットホーム宮の渡し

- 所在地 〒457-0861 名古屋市南区明治一丁目14番56号
- 電話番号 052-694-3838
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤・非常勤
- 担当者 事務 早川
- ホームページ <http://www.daijinkai.jp/miya/>

合同会社 gene

- ① 訪問看護ステーション 仁 春日井
- ② 訪問看護ステーション 仁 岡崎
- ③ リハビリテーション デイサービス 仁 春日井
- ④ リハビリテーション デイサービス 仁 勝川 (2015年10月1日開設予定)

- 所在地 ①〒486-0851 愛知県春日井市篠木町五丁目24番1 伊藤信ビル1階
②〒444-0806 愛知県岡崎市羽根町字鰻池227番地2 大平ビル2階
③〒486-0851 愛知県春日井市篠木町五丁目19番2
④〒486-0916 愛知県春日井市八光町二丁目18番2
- 電話番号 0568-29-5030 (法人管理部門)
- 募集人数 若干名
- 希望条件 正社員 及び パート社員
- 担当者 岡本 義之 法人管理部門
- ホームページ <http://www.gene-llc.jp/>

有料老人ホーム くすのき苑 八龍

- 所在地 〒462-0805 名古屋市北区八龍町1丁目65番地
- 電話番号 052-991-2400
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤、非常勤どちらでも可
- 担当者 児玉

◀ 求人情報 ▶

Think Body Japan

- 所在地 〒463-0095 愛知県名古屋市守山区高島町45番地
- 電話番号 052-739-6817 又はE-mail : info@thinkbody.co.jp
- 募集人数 4名
- 希望条件 常勤：訪問看護：基本給270000円～
通所介護：基本給250000円～
非常勤：訪問看護：時給1800円～
通所介護：時給1500円～
常勤・非常勤共に、キャリアアップ制度あり。
- 担当者 佐藤晃嘉 リハビリフィットネス守山
- ホームページ <http://thinkbody.co.jp>

咲楽リハビリ訪問看護ステーション

- 所在地 〒481-0002 北名古屋市片場大石47番地
- 電話番号 0568-26-5862
- 募集人数 若干名
- 希望条件 常勤または非常勤
- 担当者 土田

医療法人十喜会 老人保健施設 向陽

- 所在地 〒447-0871 愛知県碧南市向陽町4丁目31番地
- 電話番号 0566-46-3581
- 募集人数 2名
- 希望条件 常勤・非常勤
- 担当者 (事務) 竹内、加藤

公益社団法人
愛知県理学療法士会ニュース

No.179

平成 27 年 (2015) 11 月 1 日 発行

発行所 愛知県理学療法士会

発行者 鳥山喜之

編集者 後藤亮吉

事務局 〒461-0001
名古屋市東区泉1-12-35 1091ビル9F
TEL・FAX (052) 972-6295
〔HP〕 <http://www.aichi-pt.jp>
(携帯電話からも閲覧できます)
e-mail:office@aichi-pt.jp

印刷 不二印刷工業株式会社